

全ての子どもの多様で豊かな可能性を開花させるために

学びの道しるべ

～「令和8年度全国学力・学習状況調査」の結果より～

「令和8年度全国学力・学習状況調査」（令和8年4月20日～5月29日実施）のさいたま市の結果について、お知らせします。

御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（中学校版）



全国の
調査結果

[国立教育政策研究所ホームページ](#)



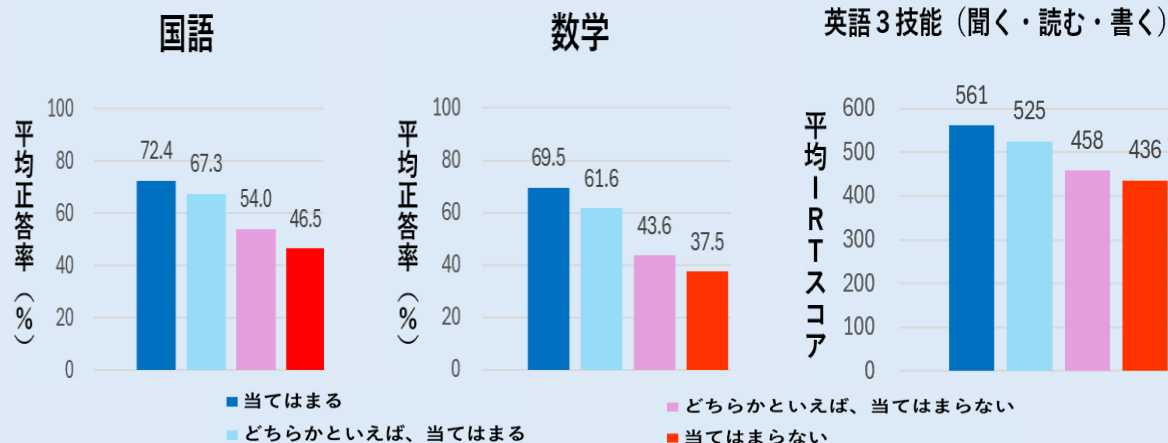
さいたま市
の調査結果

[さいたま市立教育研究所ホームページ](#)

「令和8年度全国学力・学習状況調査」生徒質問調査 さいたま市の結果より

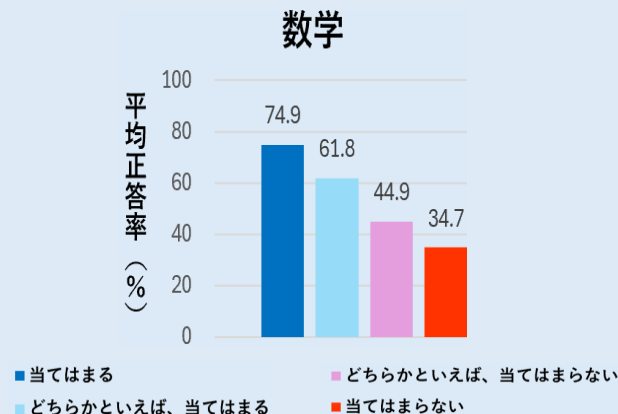
〔課題の解決に向けて自分から取り組んだ〕×正答率

生徒質問調査「1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の回答状況と、各教科の正答率・IRT（※）スコアとのクロス集計では、以下の結果が示されました。



〔「文字式を用いた説明」や「図形の証明」の理解〕×正答率

生徒質問調査「数学の授業で、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかっていることを理解することができましたか。」の回答状況と、数学の正答率とのクロス集計では、以下の結果が示されました。



課題の解決に向けて自分から取り組んだ生徒ほど、正答率が高い傾向がみられる！

※IRT（項目反応理論）とは、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学カスコアを推定する統計理論です。なお、中学校英語の全国（公立）の平均IRTスコアは、499です。

「文字式を用いた説明」や「図形の証明」を読んで、かかっていることを理解している生徒ほど、正答率が高い傾向がみられる！

「図形の証明」に関わる問題で課題がみられたよ！どのような問題か見てみよう！

きみなら、どんな方法で課題を解決する？
難しくても、まずは一歩！
自分を信じてやってみよう！



「令和8年度全国学力・学習状況調査」の出題より

【出典】『令和8年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校数学』
<https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku/report/data/26mmath.pdf26kaisetsu>



例題 令和8年度調査問題 中学校数学 大問3より抜粋

【平均正答率】

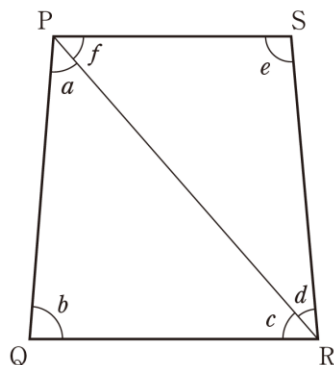
全国（公立）：49.1%
 さいたま市：56.8%

類題 平成28年度調査問題 中学校数学A 大問6より抜粋

【平均正答率】

全国（公立）：74.8%
 さいたま市：78.9%

3 下の図は、四角形PQRSに対角線PRをひいたものです。



上の図において、 $\angle a$ から $\angle f$ までの6つの角のうち、ある2つの角の大きさが等しければ、 $PS \parallel QR$ であるといえます。その2つの角を書きなさい。

【例題の正答】 $\angle c$ と $\angle f$

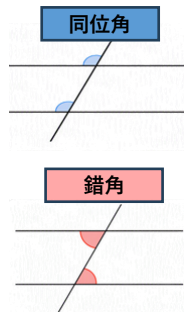
例題の解説

平行線になるための条件を確認しましょう。

【平行線になるための条件】

2直線に1つの直線が交わるとき

- ① 同位角が等しければ、その2直線は平行。
- ② 錯角が等しければ、その2直線は平行。

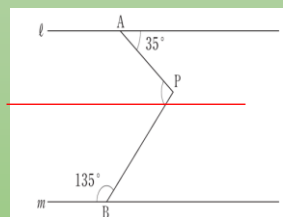


PSとQRに交わるPRに着目し、錯角の関係である $\angle c$ と $\angle f$ が等しいときに、 $PS \parallel QR$ であるといえます。

左の例題をクリアしたら、右の類題にも挑戦してみよう！
 答えは、表面をチェック！



もう1つ平行な直線を書き足すと...



【ヌッからのアドバイス】

「図形の証明」を読んで、かかれていることを理解するためには、学習用語を覚えるだけでなく、成立するための条件を理解し、直線や角の位置関係まで捉えることが大切だよ。

